

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	観光課	事業No.	209	
事務事業名		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H19	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		2	飯田市への人の流れをつくる		
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす		
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン			
			地域経済活性化プログラム			
		名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画				
法令・例規等						
事業目的		対象	天龍峡の観光客			
		意図	地域交流人口の増加			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)		
		1「天龍峡再生プログラム」に位置付けられた各種事業、天龍峡大橋開通を見据えたおもてなしの充実に向けた事業等を実施し、天龍峡の再生・活性化を図りました。 ・天龍峡観光案内所の運営とご案内人養成講座の実施 ・地元団体の活動支援や観光情報の発信、誘客事業の実施 ・天龍峡パーキングエリアを活用した観光・地域振興の取組 ・天龍峡遊歩道龍東道整備 ・天龍峡の観光施設の維持管理 2「名勝天龍峡整備計画」による事業を実施し「名勝天龍峡」の適切な保存管理と活用を図りました。 ・名勝天龍峡ガイドンス施設整備	天龍峡おもてなし戦略支援事業等	5,340	天龍峡観光等案内業務等	5,232	公園・樹木・施設管理業務等	4,307	土地借地料等
		龍東道遊歩道整備	13,418	中央駐車場便所改修	618	天龍峡IC休憩施設整備負担	248	名勝天龍峡整備検討委員会報酬・旅費	118
		名勝天龍峡ガイドンス施設整備	77,611	名勝天龍峡ガイドンス施設管理	864	その他の経費	631		

  

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	天龍峡及び天竜川下り舟の観光客数	人	353,000	325,500	300,000	310,900	346,500	331,500		
	「そらさんぼ天龍峡」を訪れた人数(上記内数)	人	-	-	-	-	-	-		
	「よって館天龍峡」を訪れた人数(上記内数)	人	-	-	-	-	-	-		
	天龍峡をご案内人が案内した人数	人	6,000	5,528	6,000	4,519	6,000	4,078		

  

1年度決算(千円)	予算額		139,813	特定財源内訳及び補正事項						
	決算額		110,969	(国) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (1/2)						
	財源の状況	国庫支出金	36,650	(県) 文化財保護事業補助金 (3/100) (県随伴補助、上限500千円)						
		県支出金	500	(地) 合併特例(充当率95%)						
		地方債	46,800	(そ) ふるさと寄附金 6,665千円、(そ) 諸収入 235千円、(そ) 繰越金 248千円						
		その他	7,148	30→1 繰越明許費 248千円						
一般財源	19,871	1→2 繰越明許費 23,575千円								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	14	6	57,650	32,457	天龍峡活性化事業費
2	1	7	1	4	14	7	82,163	78,512	名勝天龍峡整備事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・遊歩道、広場、温泉交流館等の施設整備や、ご案内人による遊歩道散策、地元関係団体による各種行事の開催など、来訪者に対するおもてなし充実の取組が一定の成果を上げ、天龍峡を訪れる観光客数は年々増加しています。今後は新たに開通した天龍峡大橋そらさんぼ及び天龍峡パーキングエリア、名勝天龍峡ガイドンス施設よって館など、天龍峡観光の拠点となる各施設を連携・活用し、天龍峡エリア全体の魅力向上やおもてなしの充実に向けた取組を推進していく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・名勝及び施設を結び付け、エリア全体として魅力を高めるため、地元関係団体、名勝を所管する文化庁、天龍峡パーキングエリアを管理する国土交通省などと連携して、各種取組を実施する必要があります。 ・住民、事業者、関係団体等が、天龍峡の魅力を改めて学び、活性化に向け何をするか考える機会を持つことが大切です。							
次年度に向けての取り組み		・天龍峡パーキングエリアを活用した観光・地域振興の取組を行い、来訪者に対するおもてなしの充実を図ります。 ・天龍峡ご案内人の養成講座など、地域住民が天龍峡の魅力を学び、来訪者に伝えるための学習機会を設けます。 ・一部繰越となった遊歩道龍東道整備を早急に完了し、天龍峡を周遊できるルートとして活用を図ります。							